

コアマモ移植実験の結果について（令和3年10月）

1. 移植後約1か月半後の観察結果



○砂浜に移植した株は、根茎が発達しており、しっかりと活着していることが確認できました。また、移植当初10株だった株数が15株に増え、新しい葉が伸びていることも確認できました

葉長 7~20cm

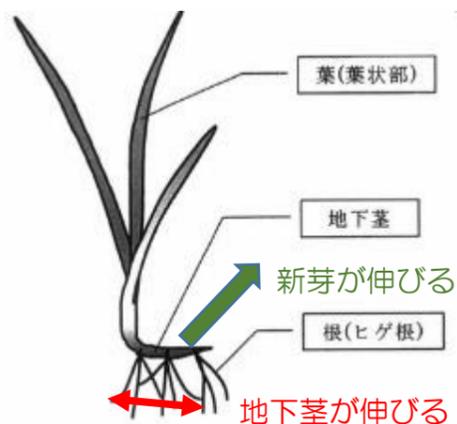


移植株



【拡大写真】

2. コアマモの成長について

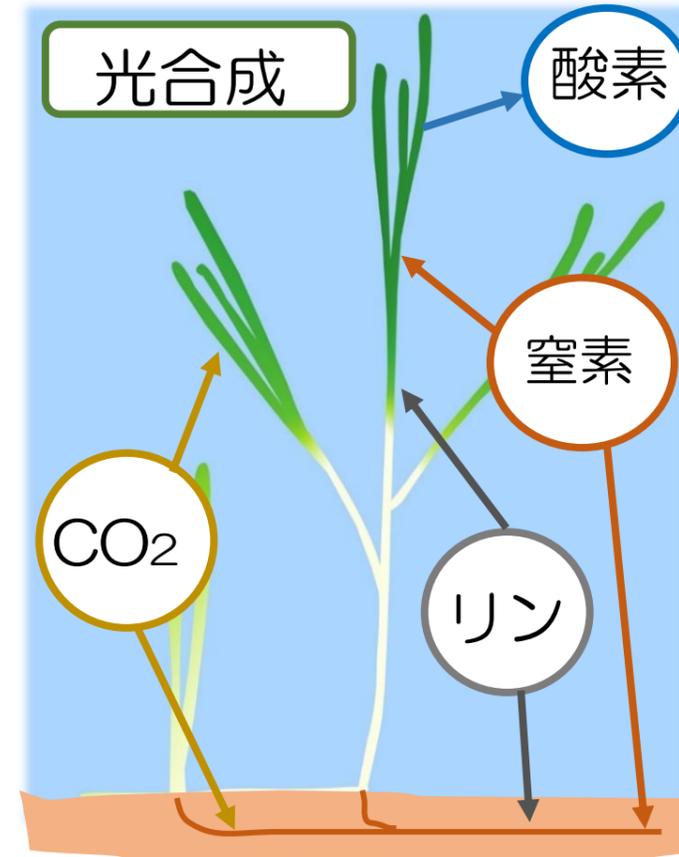


○コアマモは、秋・冬にかけて地下茎が伸び、その根の途中から芽が出て、葉を伸ばし株数を増やしていきます。特に春によく成長します。今回移植したコアマモについても、来年の春以降、さらに株数が増える可能性があります。

- (秋・冬~春先) 地下茎が伸びる
- 根の途中から芽が出て株数が増える

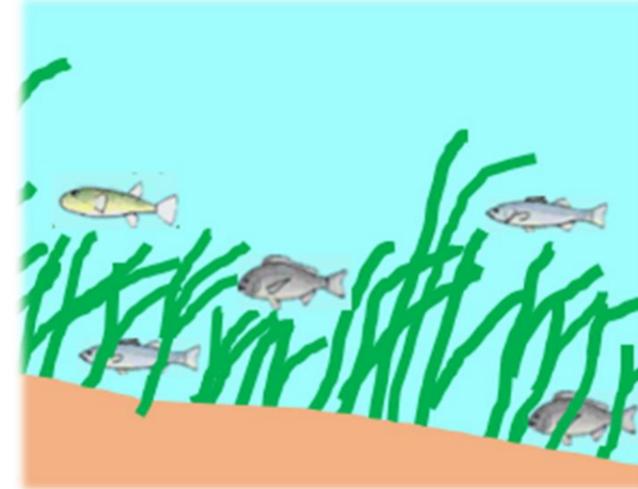
3. コアマモの役割

3-1 水質の浄化



○コアマモは、光合成を行う際に、二酸化炭素を吸収し、酸素を供給するだけではなく、水質悪化の原因となるリンや窒素などの有機物を取り込んで、水質を改善する効果があります。

3-2 水中生物の生息環境の保全



○コアマモが増えると、小魚のすみかや産卵場所となるなど、水中の生き物を育む場所となります。

【問い合わせ先】大田区都市基盤整備部地域基盤整備第一課公園管理担当

TEL:(5764)0643